

早期景気観測調査

【8-9月期調査結果報告書】

令和7年10月

 甲府商工会議所

◆調査要領

1. 調査の目的 : 山梨県内で最も速報性の高い『街角の景況感』を把握する調査として中小企業の明日の経営活動に資する。
2. 調査実施機関 : 甲府商工会議所
3. 調査実施時期 : 令和7年9月24日(木)～10月1日(水)
4. 調査対象 : 当所会員 115 事業所
5. 調査方法 : ファクシミリによるアンケート方式
6. 有効回答数 : 66 件
7. 有効回答率 : 57.4 %
8. 特記事項 : 原則、小数点以下第二位で四捨五入

◆結果概要

【8-9月期の動き】

**全体業況は ▲ 18.2 と前期と比較し改善
売上増加も仕入単価は悪化
向こう3ヶ月の業況は ▲ 4.5 と改善する見通し。**

全業種総合の業況DIについて、全業種総合の業況DIは、▲ 18.2（前期比 19.1ポイントの増加）となり、前期と比較し改善した。従業員DIは悪化に転じた。仕入単価DIは悪化。業績改善も仕入コスト増大の声が多くあがった。建設業と卸売業は業況悪化も小売業とサービス業が大きく改善した。

業種別は以下の通り。

●製造業：業況DI 改善 (▲ 40.0 : 前期比 3.8 ポイントの増加)

改善： 売上DI 仕入単価DI 従業員DI 悪化： 採算DI

不变： 金融貸出しDI

向こう3ヶ月の先行き業況は、 6.7 と改善する見通し。

●建設業：業況DI 悪化 (▲ 41.7 : 前期比 6.0 ポイントの減少)

改善： 従業員DI 悪化： 売上DI 採算DI 仕入単価DI 金融貸出しDI

不变： なし

向こう3ヶ月の先行き業況は、 ▲ 58.3 と悪化する見通し。

●卸売業：業況DI 悪化 (▲ 42.9 : 前期比 4.4 ポイントの減少)

改善： 仕入単価DI 従業員DI 金融貸出しDI 悪化： 売上DI 採算DI

不变： なし

向こう3ヶ月の先行き業況は、 7.1 と改善する見通し。

●小売業：業況DI 改善 (7.7 : 前期比 46.2 ポイントの増加)

改善： 売上DI 採算DI 悪化： 仕入単価DI 従業員DI

不变： 金融貸出しDI

向こう3ヶ月の先行き業況は、 0.0 と悪化する見通し。

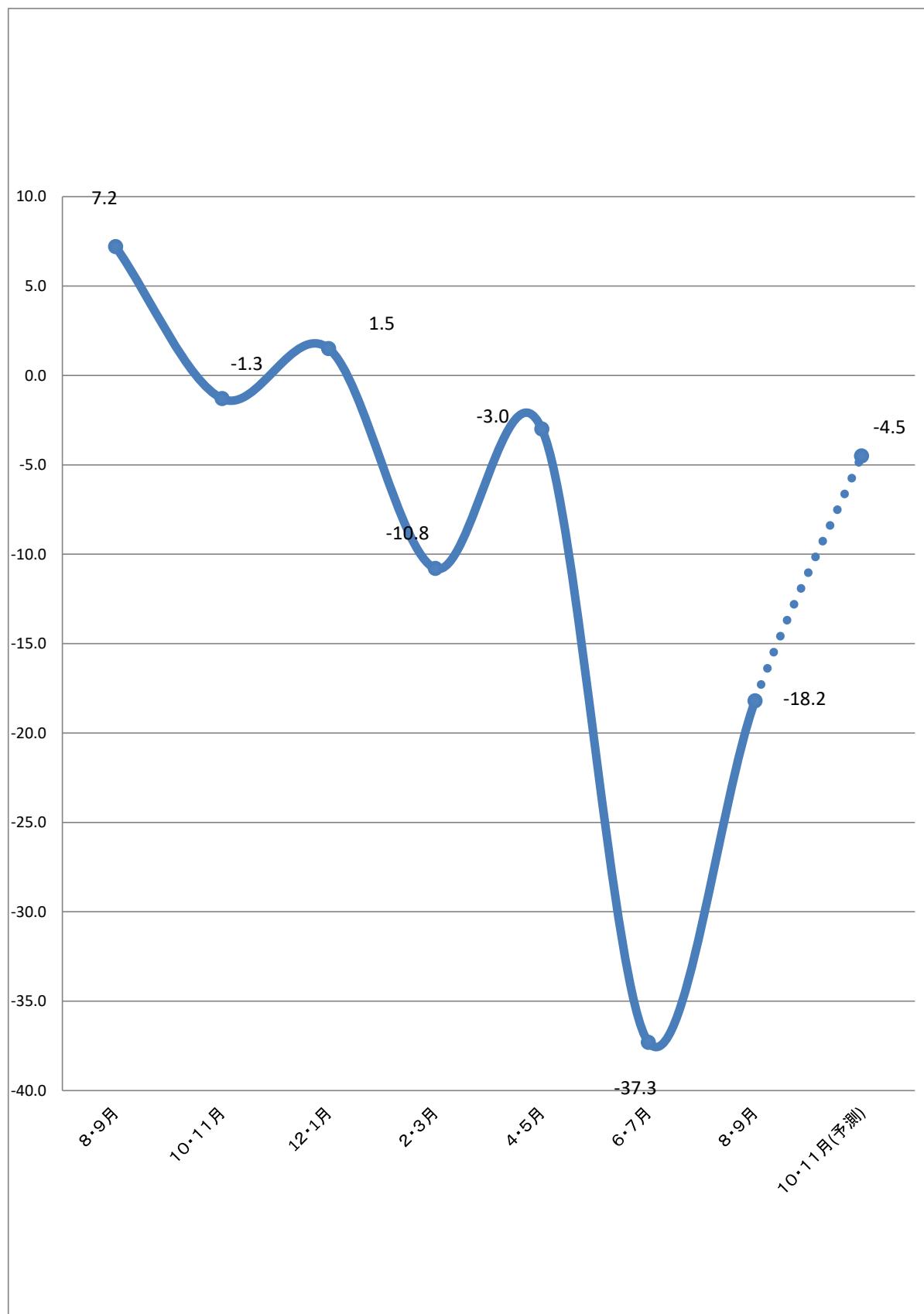
●サービス業：業況DI 改善 (33.3 : 前期比 60.6 ポイントの増加)

改善： 売上DI 採算DI 仕入単価DI 従業員DI 悪化： なし

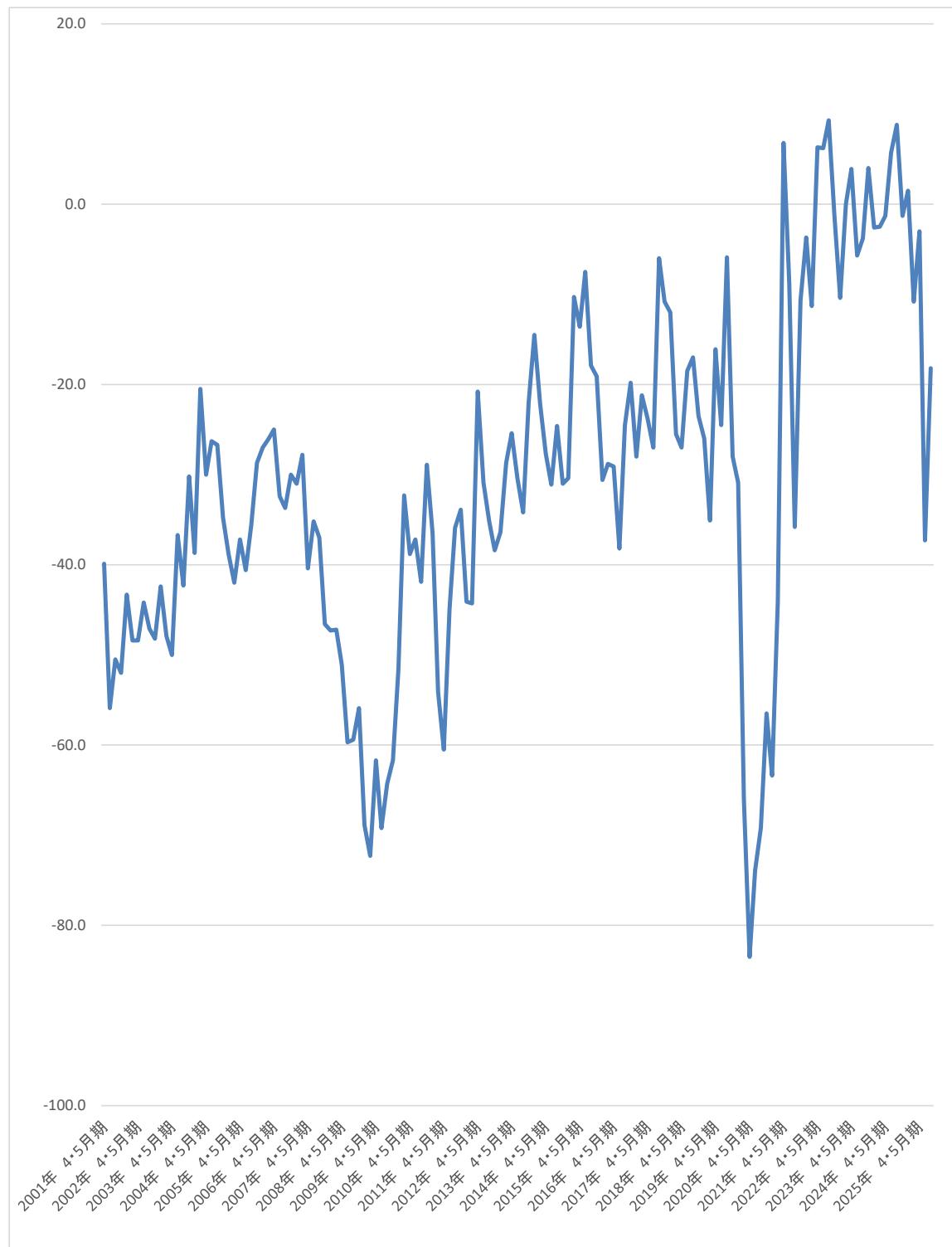
不变： 金融貸出しDI

向こう3ヶ月の先行き業況は、 16.7 と悪化する見通し。

業況DIの推移



(2001年4・5月期～2025年8・9月期)

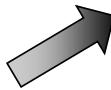
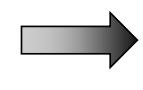


◆全業種・業種別詳細

※ D I 値（景況判断指数）について

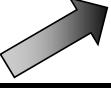
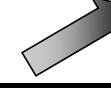
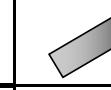
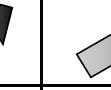
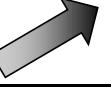
D I 値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

◆指標の見方

前回D I に比べて (先行は今回実績値に比べて)		
改善	不変	悪化
		
D I 値	D I 値	D I 値

※仕入単価D I は、仕入単価が下落した場合、「↗」（改善）と表示しております。
従業員D I は、従業員が不足している場合、「↗」（改善）と表示しております。

◆全業種総合

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲ 18.2	▲ 4.5	▲ 18.2	▲ 28.8	▲ 69.7	34.8	0.0

全業種総合の業況DIは、 **▲ 18.2** (前期比 **19.1** ポイントの増加)となった。

●項目別(前期比)

売上DI:改善 (▲ 31.3 → ▲ 18.2) 従業員DI:改善 (20.9 → 34.8)

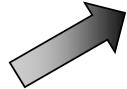
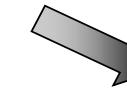
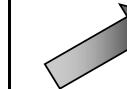
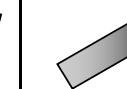
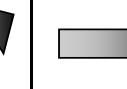
採算DI:改善 (▲ 34.3 → ▲ 28.8) 金融貸出しDI:改善 (▲ 1.5 → 0.0)

仕入単価DI:悪化 (▲ 68.7 → ▲ 69.7)

向こう3ヶ月の先行き業況は、 **▲ 4.5** と改善する見通し。

◆業種別

○製造業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲ 40.0	6.7	▲ 40.0	▲ 53.3	▲ 73.3	6.7	0.0

製造業の業況DIは、 **▲ 40.0** (前期比 **3.8** ポイントの増加)となった。

●項目別(前期比)

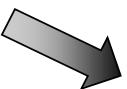
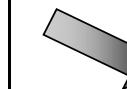
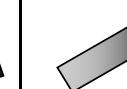
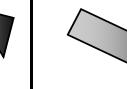
売上DI:改善 (**▲ 50.0** → **▲ 40.0**) 従業員DI:改善 (**6.3** → **6.7**)

採算DI:悪化 (**▲ 18.8** → **▲ 53.3**) 金融貸出しDI:不变 (**0.0** → **0.0**)

仕入単価DI:改善 (**▲ 75.0** → **▲ 73.3**)

向こう3ヶ月の先行き業況は、 **6.7** と改善する見通し。

○建設業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲ 41.7	▲ 58.3	▲ 50.0	▲ 58.3	▲ 58.3	41.7	▲ 8.3

建設業の業況DIは、 **▲ 41.7** (前期比 **6.0** ポイントの減少)となった。

●項目別(前期比)

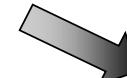
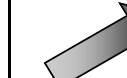
売上DI:悪化 (**▲ 35.7** → **▲ 50.0**) 従業員DI:改善 (**21.4** → **41.7**)

採算DI:悪化 (**▲ 28.6** → **▲ 58.3**) 金融貸出しDI:悪化 (**▲ 7.1** → **▲ 8.3**)

仕入単価DI:悪化 (**▲ 57.1** → **▲ 58.3**)

向こう3ヶ月の先行き業況は、 **▲ 58.3** と悪化する見通し。

○卸売業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲ 42.9	7.1	▲ 42.9	▲ 35.7	▲ 64.3	57.1	7.1

卸売業の業況DIは、 **▲ 42.9** (前期比 **4.4** ポイントの減少)となつた。

●項目別(前期比)

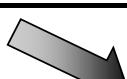
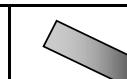
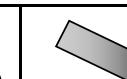
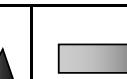
売上DI:悪化 (**▲ 15.4** → **▲ 42.9**) 従業員DI:改善 (**38.5** → **57.1**)

採算DI:悪化 (**▲ 23.1** → **▲ 35.7**) 金融貸出しDI:改善 (**0.0** → **7.1**)

仕入単価DI:改善 (**▲ 69.2** → **▲ 64.3**)

向こう3ヶ月の先行き業況は、 **7.1** と改善する見通し。

○小売業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
7.7	0.0	23.1	▲ 15.4	▲ 61.5	23.1	0.0

小売業の業況DIは、 **7.7** (前期比 **46.2** ポイントの増加)となつた。

●項目別(前期比)

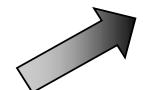
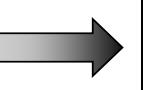
売上DI:改善 (**▲ 30.8** → **23.1**) 従業員DI:悪化 (**30.8** → **23.1**)

採算DI:改善 (**▲ 69.2** → **▲ 15.4**) 金融貸出しDI:不变 (**0.0** → **0.0**)

仕入単価DI:悪化 (**▲ 46.2** → **▲ 61.5**)

向こう3ヶ月の先行き業況は、 **0.0** と悪化する見通し。

○サービス業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
33.3	16.7	25.0	25.0	▲ 91.7	50.0	0.0

サービス業の業況DIは、 33.3 (前期比 60.6 ポイントの増加)となつた。

●項目別(前期比)

売上DI:改善 (▲ 18.2 → 25.0) 従業員DI:改善 (9.1 → 50.0)

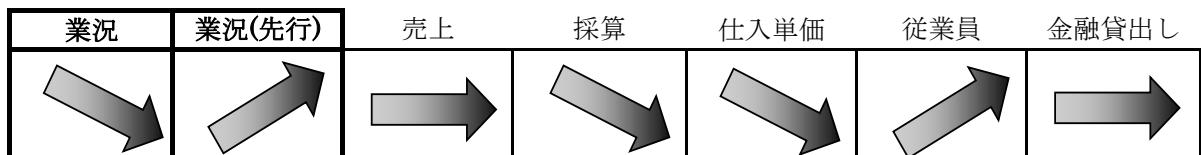
採算DI:改善 (▲ 36.4 → 25.0) 金融貸出しDI:不变 (0.0 → 0.0)

仕入単価DI:改善 (▲ 100.0 → ▲ 91.7)

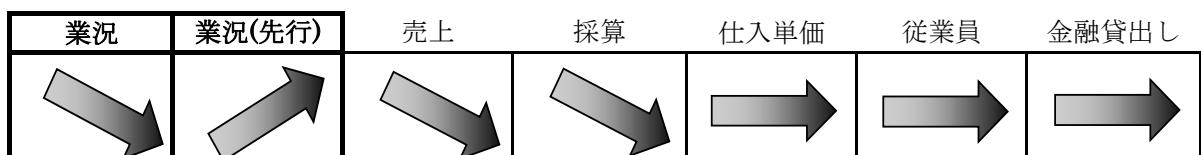
向こう3ヶ月の先行き業況は、 16.7 と悪化する見通し。

◆業種別詳細

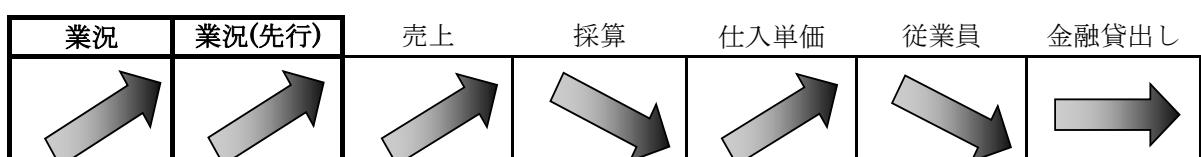
○製造業(食品)



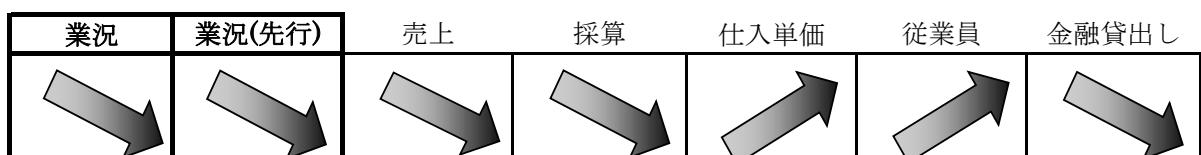
○製造業(工業製品)



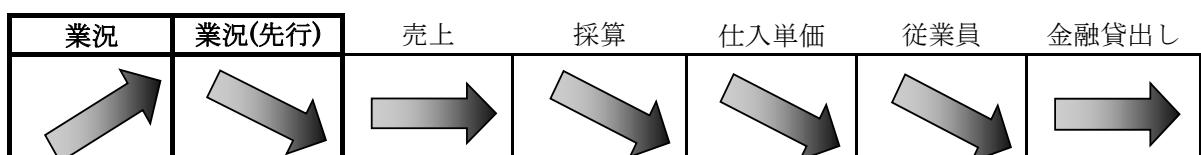
○製造業(宝飾)



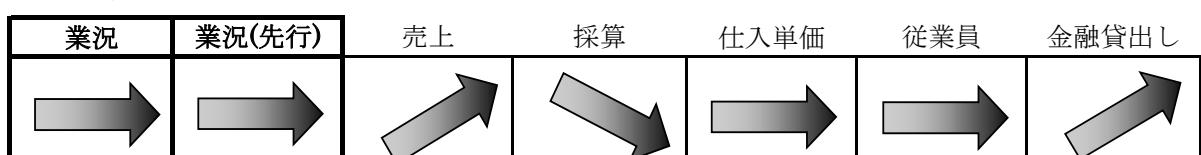
○建設業(建築)



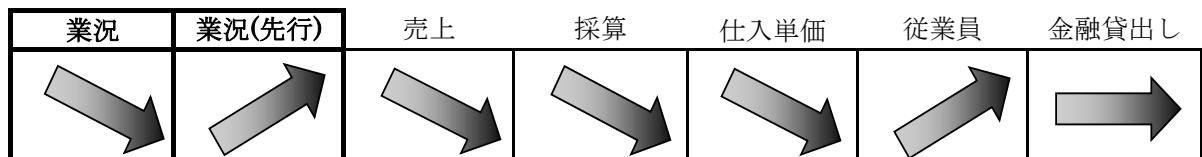
○建設業(土木)



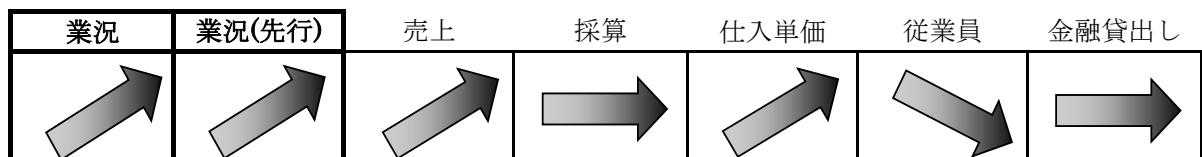
○建設業(鉄鋼)



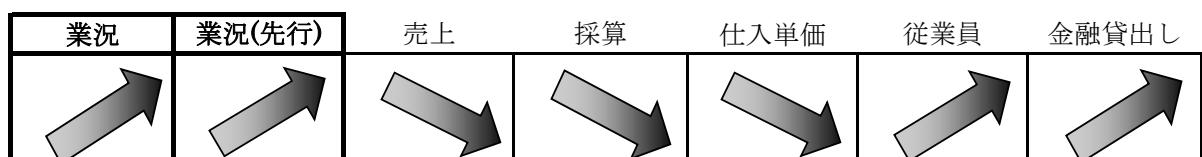
○卸売業(食品)



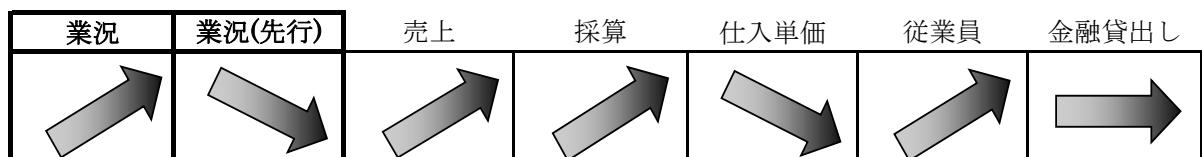
○卸売業(繊維)



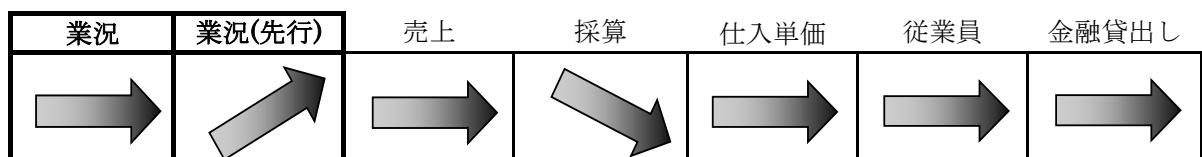
○卸売業(その他)



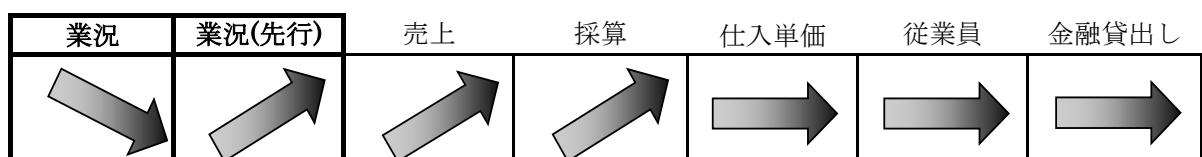
○小売業(大型店)



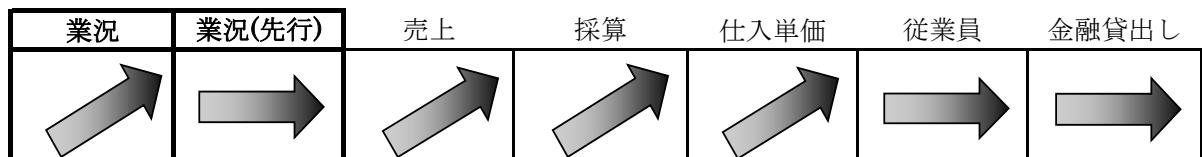
○小売業(食品)



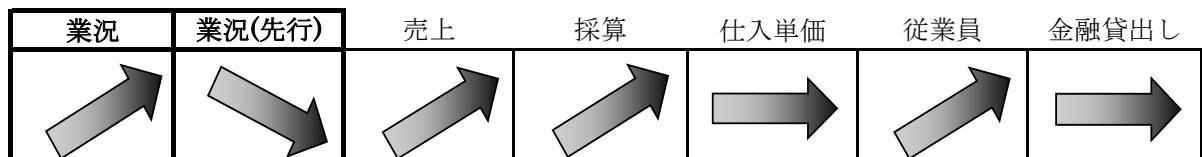
○小売業(事務用品)



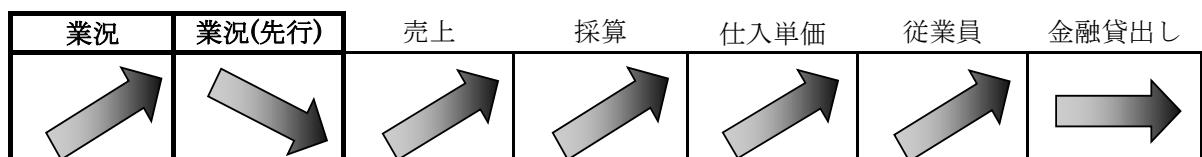
○小売業(趣味・日用品)



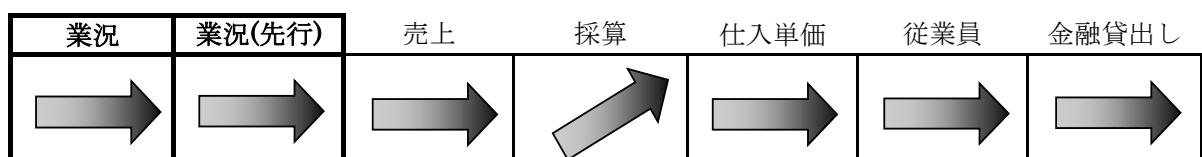
○サービス業(ホテル・旅館)



○サービス業(観光)



○サービス業(飲食その他)



◆中小企業の声(現状や直面している課題 等)

【製造業】

製造業(宝飾)

- ・インフレの加速による富裕層の投資として宝石への関心が高まっている。

製造業(食品)

- ・横ばい、不振な業界(企業)は判断が遅れている。売上不振は元請けの影響が大きい。

製造業(工業製品)

- ・売上高、経常利益は前年同期と変わらず堅調に推移。今後は関税の影響と為替の動向にもよるが現時点では堅調に推移する見込み

【建設業】

建設業(土木)

- ・社員を雇用しても無責任な人間が多く積極的に仕事をする姿勢もない。かえって心配で仕事ができない環境になってしまふ。物価高もあり民間工事が停滞している状態。

建設業(建築)

- ・昨年からの働き方改革、それに伴う他業域での遅れが着工や工程の遅れに連動している。加え人手不足が拍車をかけている。前払い金が無い工事ではそれまでの段取りに要する労務費がなく契約後長い工期では6~10ヵ月後の出来高請求が非常に重たい。

建設業(鉄鋼)

- ・特に変化なし

【卸売業】

卸売業(食品)

- ・昨年果実生産額は過去最高を更新し主要果実の葡萄の出荷が10月以降も続いたため活発な動きが期待できる。一方果実、野菜共に今夏の酷暑の影響を受け一部生育不良が見受けられるので出荷量に注視する必要がある。

卸売業(その他)

- ・中小企業の採用(特に新卒)の厳しさを最近強く感じる。得意先様の業績の格差がより明確になってきている。

【小売業】

小売業(趣味・日用品)

- ・物価高による買い控えのため修理等は多いが商品が動かない。扱い商品の卸価格も上昇している。

小売業(大型)

- ・8月は旅行や登山、帰省客が多く台風も無かったため来館数好調。お土産、レストラン、カフェ、コンビニ、ファストフードの売上が特によかった。反面酷暑日が多くシニア層を中心に出控え傾向が続き特にファッショントリ店が影響を受けた。9月は大きなイベント等は無かったが、パンマルシェ第二弾を行い来館者多く、前年比好調であった。

小売業(食料品)

- ・猛暑きびしく売上減少。材料の値上がりが大きく経営がきびしい。

【サービス業】

サービス業(観光)

- ・今後の燃料(軽油)単価の動向と人手不足が懸念材料です。

・仕入単価上昇の為、業績低下

- ・大阪万博の閉幕に向けた駆け込み需要増への期待や行楽シーズンに向けた動きには注視していく。

サービス業(飲食)

- ・売上に変化はないが仕入れコストのと人件費が大幅上昇している。